

令和5年度

事業概要

社会福祉法人 昭徳会

特別養護老人ホーム	小原安立
高齢者グループホーム	小原安立

社会福祉法人 昭徳会 基本理念

しあわせ
「幸福」

社会福祉法人 昭徳会 基本方針

- 1 ひとりひとりに、思いやりの心をもって接します
- 2 ひとりひとりを尊重し、その人にあった支援、援助をします
- 3 ひとりひとりを大切に、まごころで接します
- 4 わたしたちは、すべての人の幸福を目指し、たゆみなく援助技術の向上に努めます
- 5 わたしたちは、お互いに助け合い、よりよい生活ができるよう努めます

目次

1	小原安立が目指すユニットケアのカタチ	1
2	令和5年度事業計画	2
3	施設の名称所在地	3
4	事業目的	3
5	設置経営	3
6	施設認可、指定及び事業開始	3
7	規模及び構造	4
8	組織図	4
9	令和5年度会議、委員会体制図	5
10	職員の配置状況	6
11	勤務体制表	7
12	入居者の状況	8
13	受診状況等	10
14	給食の状況	13
15	在宅福祉サービス 短期入所生活介護	14
16	高齢者グループホームの事業	15
17	在宅福祉サービス 認知症対応型通所介護	17
18	各種委員会等活動報告	18
19	職員種別会議、研修参加状況	19
20	防災対策状況	22
21	令和4年度事業報告	23

1 小原安立が目指すユニットケアのカタチ

(平成26年4月1日:制定)

(1) ユニットケア推進目標

ひとり一人の入居者が「幸福」を実感できる「暮らし」の実現をめざします。

(2) ユニットケア推進のための指針

① 馴染みの関係の中で、「暮らし」の個別支援ができるサービス提供体制（ユニット職員固定配置など）をつくる。

- ・1ユニット≒10名の生活単位ごとに、職員を固定配置する。
- ・勤務表はユニット毎に作成する。
- ・入居者の暮らしを知り、暮らしに沿った職員配置を行う。

② ひとり一人の入居者の意思や人格、生活習慣や好みを尊重し、これまでの「暮らし」が継続できるような居住・生活環境をつくる。

- ・これまでの「生活習慣」や「好み等」を知り、入居者の「望む」暮らしを支援する。
- ・「住まい」と感じられるユニット空間・環境をつくる。

③ 24時間の「暮らし」が保証できる仕組みをつくる。

- ・入居者の「暮らし」と「支援内容」を24時間シートで明確にし、他職種協働で実践・評価・改善する。

2 令和5年度 事業計画書(小原安立)

1. 事業運営基本計画(事業目標)

- (1) 根拠に基づいた高品質な個別ケア・サービスの提供
- (2) 現場対応力（能力開発）と人間力（心田開墾）を高める人材教育の推進
- (3) 事業継続の観点から健全な経営、労働環境の改善を図る（稼働目標：97%）
- (4) 地域貢献活動を通じた社会福祉法人として価値向上
- (5) 事業継続管理に向けた、災害低減対策の推進

2. 具体的計画

(1) 根拠に基づいた高品質な個別ケア・サービスの提供

- ①科学的介護推進体制加算の継続取得のため、フィードバック情報活用の推進を行う。また新たなLIFE関連の加算取得の可能性を検討する。
- ②ICF視点や生活を構成する5つ要素の調和を基本として、「Ⅰ：要介護状態の改善（自立支援介護）グループ、Ⅱ：要介護状態の悪化防止グループ、Ⅲ：最後まで寄り添う（看取りケア）グループ」のいずれかの区分での施設サービス計画書への位置づけを継続し、Ⅰ、Ⅱのグループについてバーセルインデックスによるアウトカム評価を継続する。
- ③「福祉サービス第三者評価」から抽出された課題解決のため、各種介護マニュアル（手順書）の作成を進める。

(2) 現場対応力（能力開発）と人間力（心田開墾）を高める人材教育の推進

- ①外国人介護技能実習生の継続した受入れ、支援体制を委員会で検討し、新たに特定技能外国人の受入れを進める。
- ②職員の専門性向上の観点から、下記の研修参加を促進する。
Ⅰ：ユニットリーダー研修、Ⅱ：バーセルインデックス研修、Ⅲ：コンチネンスケアワーカー研修、Ⅳ：認知症介護（基礎、実践者）研修、Ⅴ：外国人技能実習（管理者、指導員、生活指導員）研修（更新含む）、Ⅵ：ICF視点の施設サービス計画作成に係る研修（外部講師招聘）、Ⅶ：福祉用具、機器の展示会、Ⅷ：コグニサイズ実践者研修
- ③法人福祉実践発表会（高齢分野）にて日頃の実践内容を発表する。

(3) 事業継続の観点から健全な経営、労働環境の改善を図る（稼働目標：97%）

- ①経年劣化した設備等を収入に応じ更新・改修をする。Ⅰ：電話交換機更新、Ⅱ：空調設備修繕
- ②食事サービス提供方法（調理済み食材活用）への移行について検討する。
- ③各種ハラスメントに対する理解を深めるための勉強会を企画実施する。またハラスメント発生時における事業所内の役割をフローチャート化する。

(4) 地域貢献活動を通じた社会福祉法人として価値向上

- ①社会活動の再開に向けて情報収集を引き続き行い、社会貢献活動「ハチドリチャレンジ」の参加促進を図る。
- ②周りの人（利用者、職員、地域）に喜ばれる20周年行事の企画、実施をする。
- ③日本福祉大学生のフィールド演習の受入れを企画実施する。

(5) 事業継続管理に向けた、災害低減対策の推進

- ①防災、感染症に対応するBCPの完成、見直しを行う。
- ②各種シミュレーション（防護服着用、ゾーニング、炊き出し）訓練の実施及び、それに伴う備品の確認及び確保を行う。
- ③令和3年度介護報酬改定における、3年の経過措置期間が設定された項目について、指針等の作成状況や委員会、研修等の体制について点検を行う。

3 施設の名称及び所在地

(1) 名称(サービス種類)

- ① 特別養護老人ホーム 小原安立
(介護老人福祉施設:ユニット型)
- ② 小原安立短期入所生活介護事業所(併設)
(短期入所生活介護事業:併設型ユニット型)
- ③ 高齢者グループホーム 小原安立
(認知症対応型老人共同生活介護事業)
- ④ 小原安立共用型デイサービス事業所(併設)(平成28年5月1日より事業開始)
(認知症対応型通所介護事業)

(2) 所在地

〒470-0564 愛知県豊田市沢田町座内22番地

4 事業目的

介護保険法による要介護認定を受けられている方が、可能な限り居宅においても“その人らしい”自立した生活が継続して営めるよう、サービスの提供を行い支援する。

5 設置経営

社会福祉法人 昭徳会

6 施設認可、指定及び事業開始

(1) 特別養護老人ホーム 小原安立

認可年月日 平成15年3月28日
指定年月日 平成15年4月1日(介護保険事業所番号 2376100182)
指定更新年月日 令和9年3月31日
事業開始年月日 平成15年4月4日

(2) 小原安立短期入所生活介護事業所(併設)

指定年月日 平成15年4月30日(介護保険事業所番号 2376100190)
指定更新年月日 令和9年4月29日
事業開始年月日 平成15年10月14日

(3) 高齢者グループホーム 小原安立

指定年月日 平成15年3月28日(介護保険事業所番号 2376100174)
指定更新年月日 令和9年3月27日
事業開始年月日 平成15年4月4日

(4) 小原安立共用型デイサービス事業所(併設)

指定年月日 平成28年5月1日(介護保険事業所番号 2393000373)
指定更新年月日 令和10年4月30日
事業開始年月日 平成28年5月1日

7 規模及び構造

(1) 利用定員

- ① 特別養護老人ホーム 80名 (8ユニット×10名)
- ② 短期入所生活介護事業所(併設) 6名
- ③ 高齢者グループホーム 6名
- ④ 共用型デイサービス事業所(併設) 3名

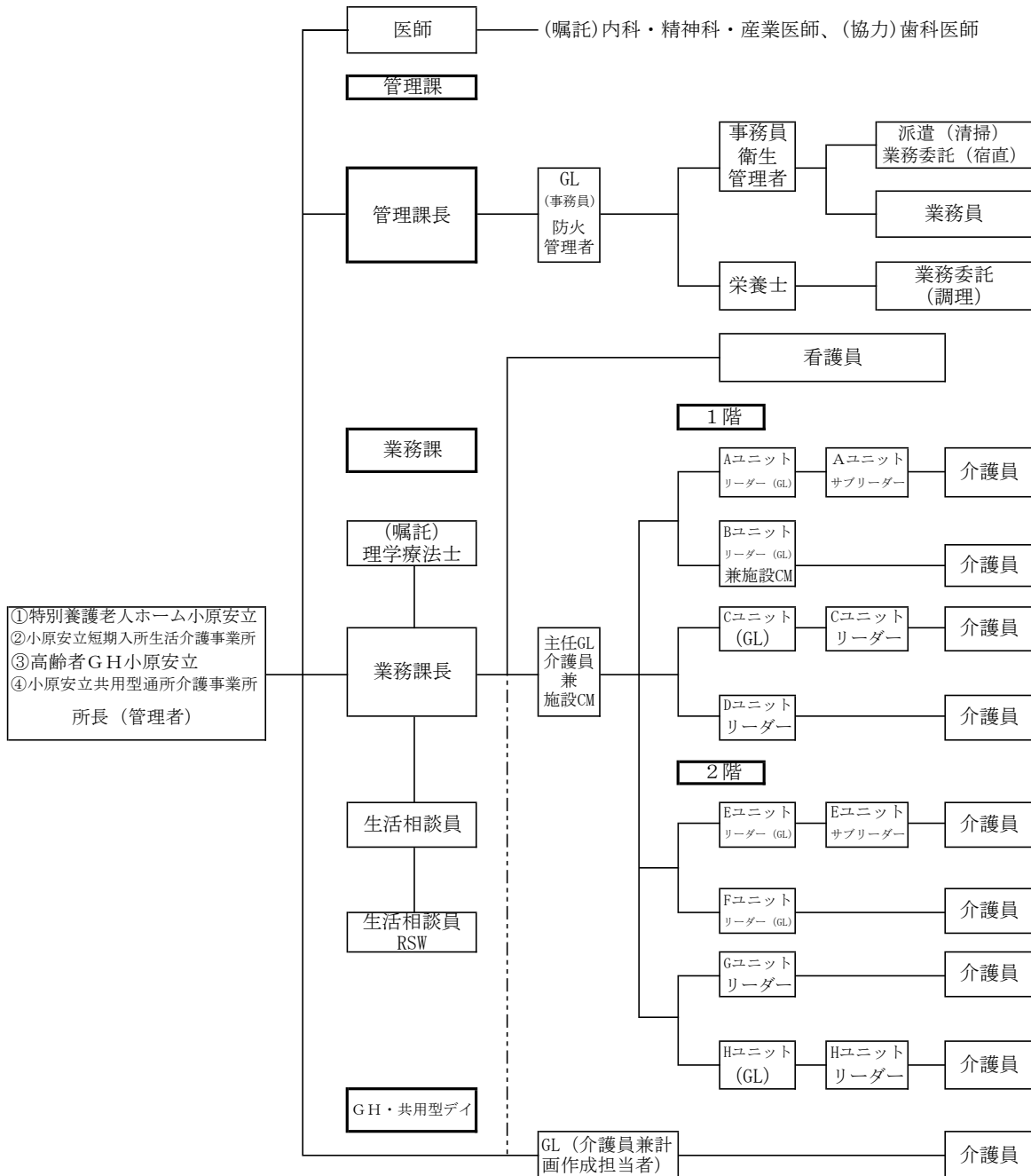
(2) 敷地面積 44,308㎡

(3) 建物構造 鉄筋コンクリート造2階建

(4) 建物延面積 4,625.58㎡

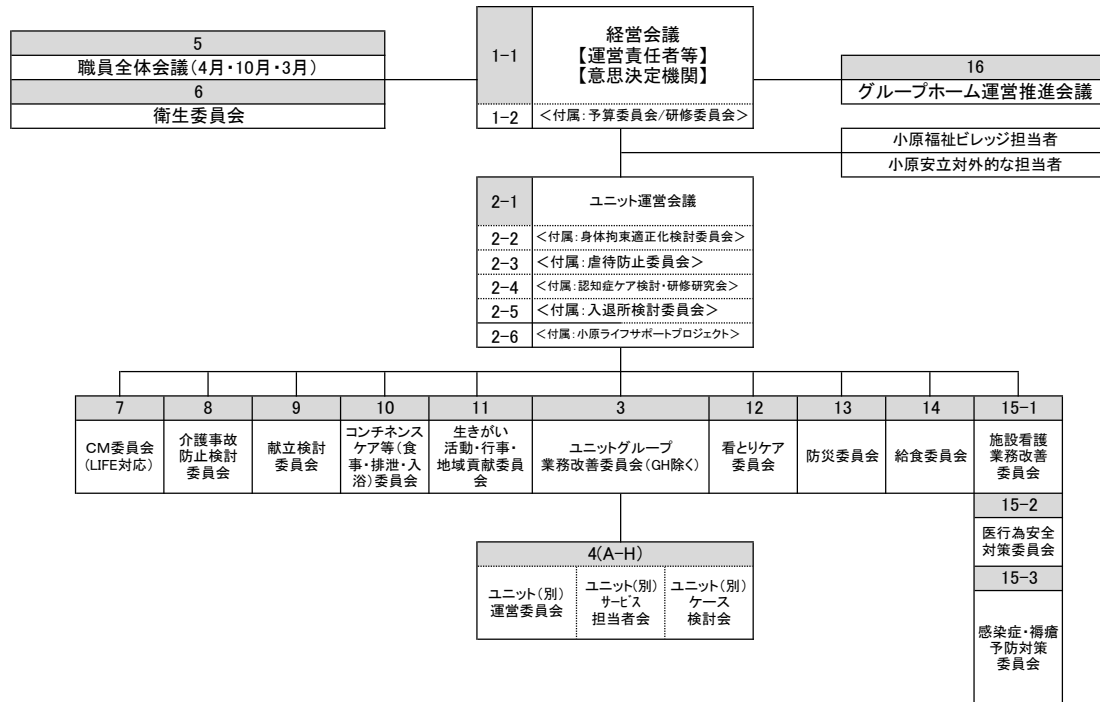
- ① 特別養護老人ホーム 4,224.79㎡(短期入所生活介護事業との共用含む)
- ② 短期入所生活介護事業所(併設) 103.05㎡(居室・食堂専用面積)
- ③ 高齢者グループホーム 297.74㎡(共用型事業との共用含む)

8 組織図



9 小原安立会議・委員会体制図

(令和5年度)



No	会議・委員会等の名称	開催頻度	時間(分)	分掌業務
1-1	経営会議	月1回	120	●施設全体の経営課題等の決定、人材育成に関すること。 20周年記念企画に関すること
1-2	付属: 予算委員会・研修委員会	経営会議内		●施設全体の経営管理に関すること。施設内外の研修に関すること
2-1	ユニット運営会議	月1回	120	●ユニット運営・管理に関する情報の共有化・諸課題の検討、事業計画推進に関すること
2-2	付属: 身体的拘束適正化検討委員会	運営会議内		●身体拘束防止、適正化に関すること
2-3	付属: 虐待防止委員会			●虐待防止、人権擁護、不適切ケアは正に関すること
2-4	付属: 認知症ケア検討・研修研究会			●認知症事例検討、法定研修等に関すること
2-5	付属: 入退所検討委員会			●入退所者の報告・協議・調整に関すること
2-6	付属: 小原ライフサポートプロジェクト			●技能実習生の受入れ、実習指導、生活支援に関すること
3	ユニットグループ業務改善委員会		月1回	60
4-1	ユニット(別)運営委員会	月1回	120	●ユニット運営・業務推進に関すること
4-2	ユニット(別)サービス担当者会			●施設サービス計画・24時間シートの検討・評価に関すること
4-3	ユニット(別)ケース検討会			●具体的な支援方法の検討、統一等に関すること
5	職員全体会議	年3回	120	●年度運営方針・総括・周知徹底事項の確認等に関すること
6	衛生委員会	月1回	60	●職員健康管理、労働安全衛生対策、産業医との連携に関すること
7	ケアマネジャー(CM)委員会	月1回	60	●介護業務支援ソフトの運用、施設サービス計画書・24時間シートの作成・更新等に関すること
8	介護事故防止検討委員会	月1回	60	●介護・医療事故の低減対策全般に関すること
9	献立検討委員会	月1回	60	●食事ケアの質向上、「楽しく・美味しく食べる」を実現する献立・企画の検討・実施に関すること
10	コンチネンスケア等(食事・排泄・入浴)委員会	月1回	60	●食事・排泄・入浴ケアの質向上、排泄用品の発注・管理に関すること
11	生きがい活動・行事・地域貢献委員会	月1回	90	●「ユニット内」及び「施設全体」の生きがい活動・行事の推進に関すること ●回想法実践の質向上に関すること●地域貢献・施設PRに関すること
12	看とりケア委員会(隔月)	年6回 (4月を除く)	60	●看とりケアの質向上、看とりケア加算の算定・維持に関すること
13	防災委員会	月1回	60	●施設全体の防災管理(BCP含む)・訓練、備蓄品・装備品の整備・管理等に関すること
14	給食委員会	随時	60	●調理委託企業との連絡調整、食品衛生法等の遵守に関すること
15-1	施設看護業務改善委員会	月1回	60	●施設の医療提供体制、嘱託医との連携、看護業務の業務改善に関すること
15-2	医行為安全対策委員会	月1回		●痰吸引体制の維持・管理に関すること
15-3	感染症・褥瘡予防対策委員会	月1回		●感染症・褥瘡予防・発生時対策(BCP含む)、入居者の健康診断に関すること
16	グループホーム運営推進会議	2ヶ月に1回	60分	●グループホームのサービスの質の確保、向上に関すること

10 職員の配置状況

(1) 特別養護老人ホーム・短期入所生活介護事業

(R5.4.1現在)

職 種	員 数	内 訳		常勤換算 後の人員	指定基準	備 考
		常 勤	非常勤			
施 設 長	1	1		1	1	GH(所長)と兼務
医 師	2		2	0.1	1	内科・精神科
生 活 相 談 員	2	1	1	1.5	1	
介 護 員	40	28	12	41.3	29	26
看 護 員	5	3	2			
機能訓練指導員	1		1	0.1	1	理学療法士
介護支援専門員	[2]	[2]				介護員
栄 養 士	2	2		2	1	
事 務 員	6	2	4	4.3	—	業務員
計	59	37	22	50.3	—	入居者:職員(看・介護) 比率(1.94:1)

[]は他職種との兼務

※ ユニット別介護員配置状況

ユニット名	入所定員	介護員数	内 訳		常勤換算後 の人員	入居者:職員比率
			常 勤	非常勤		
ひばりヶ丘 1階北	A	10(1)	5	4	9.1	2.20:1
	B	10(1)	5	3		
さくらヶ丘 1階南	C	10(1)	5	4	9.6	2.08:1
	D	10(1)	5	3		
さつき通り 2階北	E	10	5	4	9.2	2.17:1
	F	10(1)	5	3		
ささゆり通り 2階南	G	10(1)	4	4	9.1	2.20:1
	H	10	5	3		
計	80(6)	39	28	12	37.0	

()は短期入所利用者数で別掲。

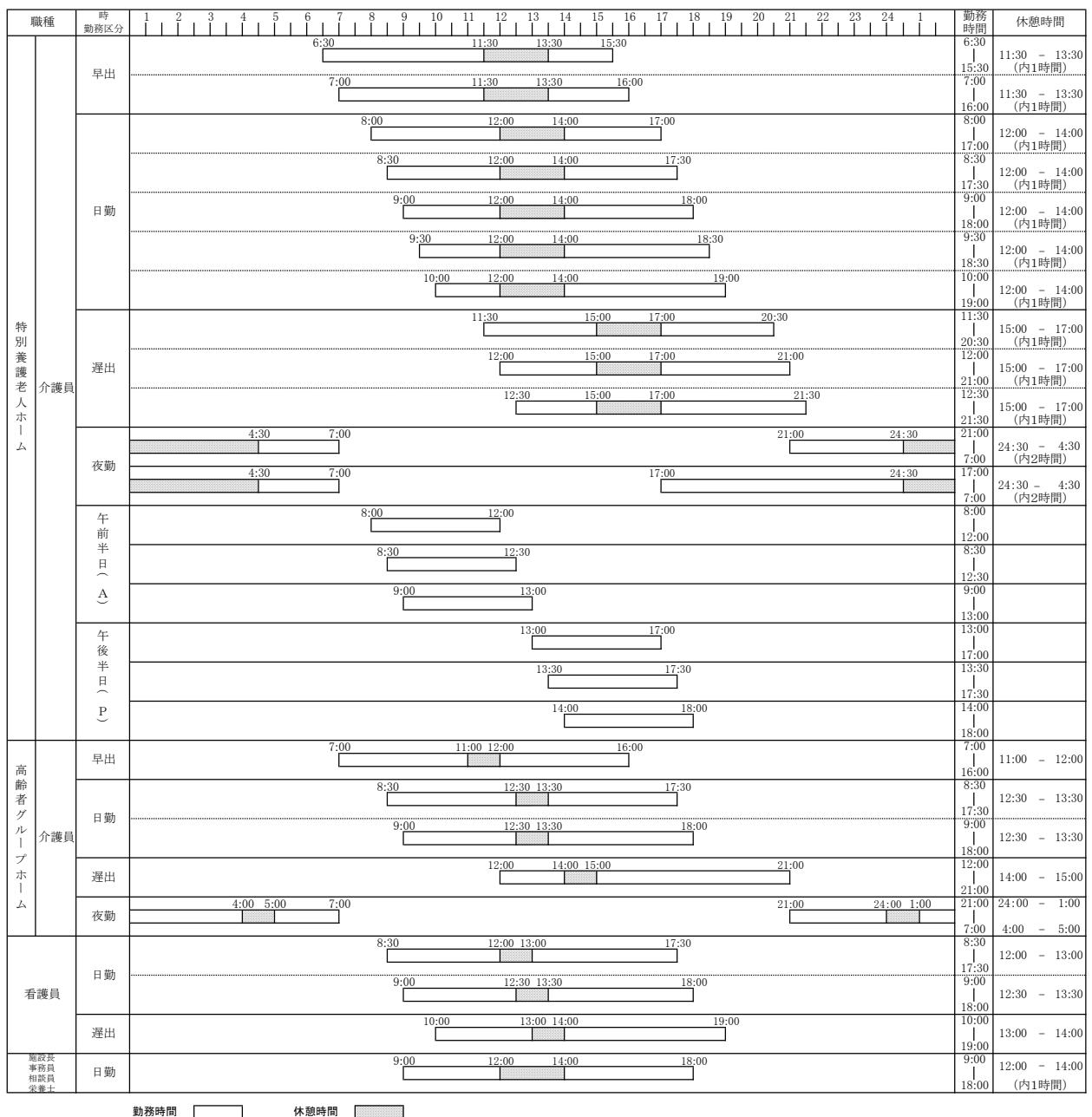
(2) 高齢者グループホーム・共用型デイサービス

(R5.4.1現在)

職 種	員 数	常 勤	非 常 勤	常勤換算後の人員	指定基準	備 考
施 設 長	[1]	[1]		[1]	[1]	特養(所長)と兼務
管 理 者	[1]	[1]		[1]	[1]	施設長が兼務
計画作成担当者	[1]	[1]		[1]	[1]	介護員が兼務
介 護 員	7	3	4	6.4	2	
計	7	3	4	6.4	—	利用者:職員比率=0.94:1

[]は他職種との兼務

11 勤務体制表



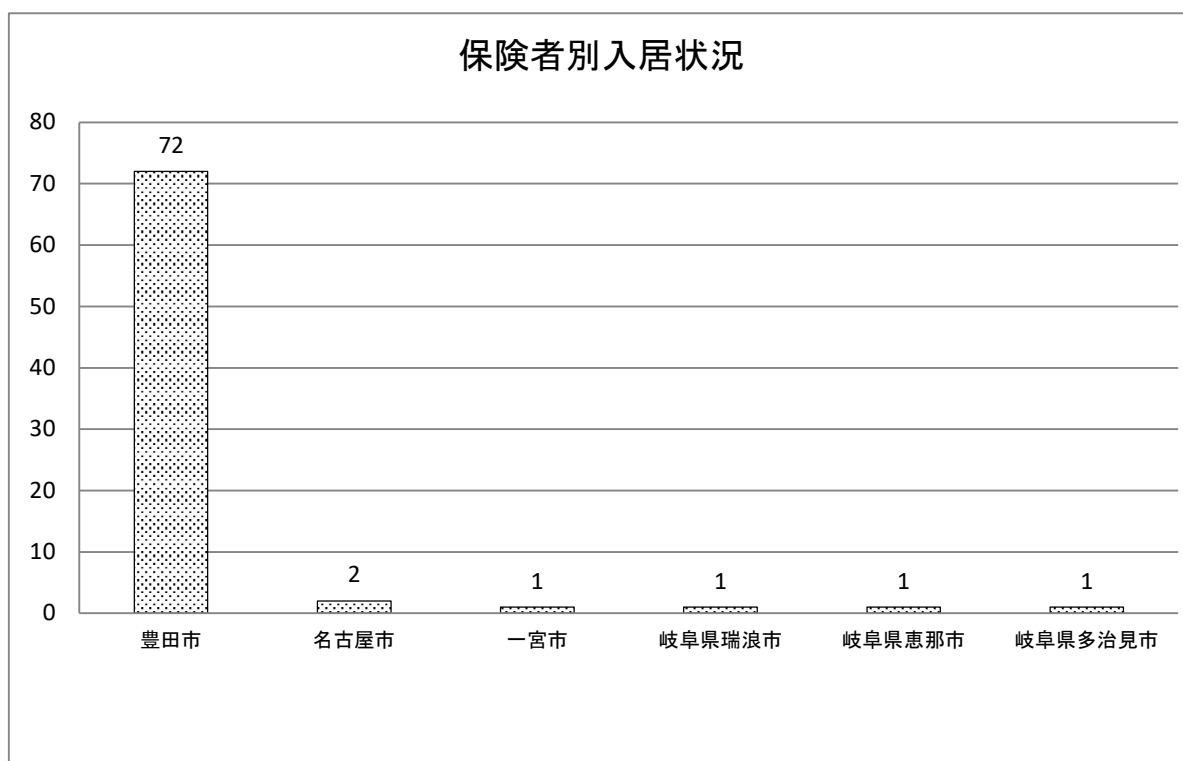
12 入居者の状況

(1) 保険者別入居状況

(R5.4.1現在 単位:人)

保険者	性別		計	構成比
	男	女		
豊田市	19	53	72	92.6%
名古屋市	0	2	2	2.5%
一宮市	0	1	1	1.2%
岐阜県多治見市	0	1	1	1.2%
岐阜県瑞浪市	0	1	1	1.2%
岐阜県恵那市	0	1	1	1.2%
計	19	59	78	100%

* 豊田市内からの入居者は前年と変わらず90%以上を占めており、地元の小原地区の入居者は全体の約50%と半数を占めている。入居者の性別比率は、男性 25%、女性 75%と女性である。
待機者の89%は豊田市在住の方である。
待機者 男性 10名 女性 29名 計 39名



(2) 身元引受人状況

(R5.4.1現在 単位:人)

性別	区分							
	配偶者	子	兄弟姉妹	子の配偶者	甥姪	孫	その他	計
男	3	9	4	2	0	0	1	19
女	2	54	2	0	0	0	1	59
計	5	63	6	2	0	0	2	78

(3) 性別、年齢別状況

(R5.4.1現在)

	60歳未満		60歳以上 65歳未満		65歳以上 70歳未満		70歳以上 75歳未満		75歳以上 80歳未満		80歳以上 85歳未満		85歳以上 90歳未満		90歳以上		計(人)	構成比	
要介護度1																			
要介護度2														1	(1)	1	(1)	1.3%	
要介護度3							1	(1)	2	(1)	2	(1)	4	(3)	11	(8)	20	(12)	25.6%
要介護度4	1				2		3	(2)			5	(3)	7	(6)	11	(11)	29	(26)	37.2%
要介護度5	1	(1)							3	(1)	2	(1)	6	(5)	16	(14)	28	(20)	35.9%
計	2	(1)			2		4	(3)	5	(2)	9	(5)	17	(14)	39	(34)	78	(59)	100.0%

*65歳未満の入居者は、介護保険法に定める特定疾病の方である。一方、最高齢者は100歳の方である。

男 → 83.3 歳

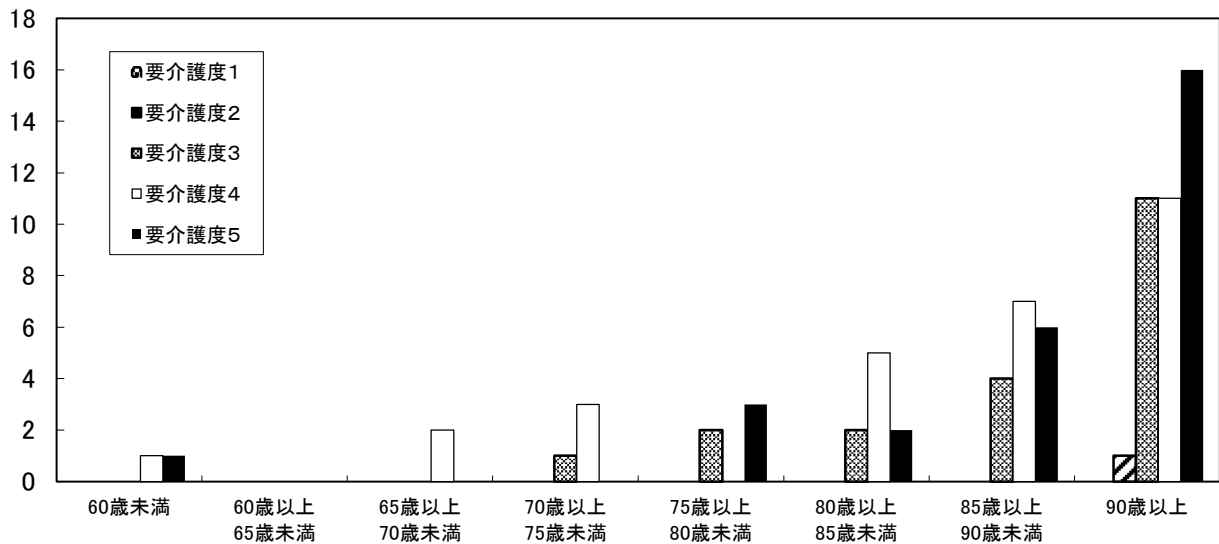
()は女性の人数

平均年齢

全体 → 88.6 歳

女 → 89.1 歳

平均要介護度 4.08



(4) 入退所状況

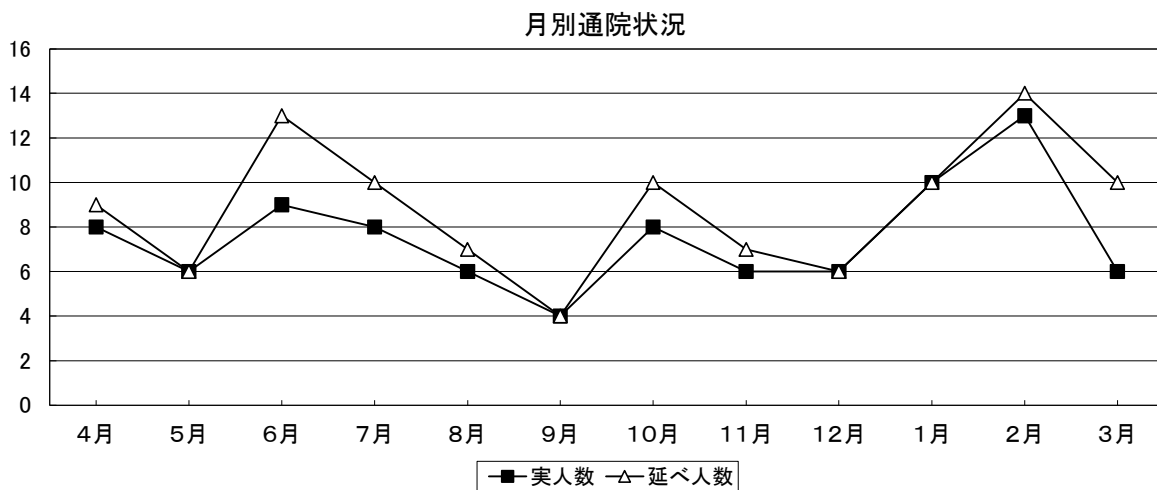
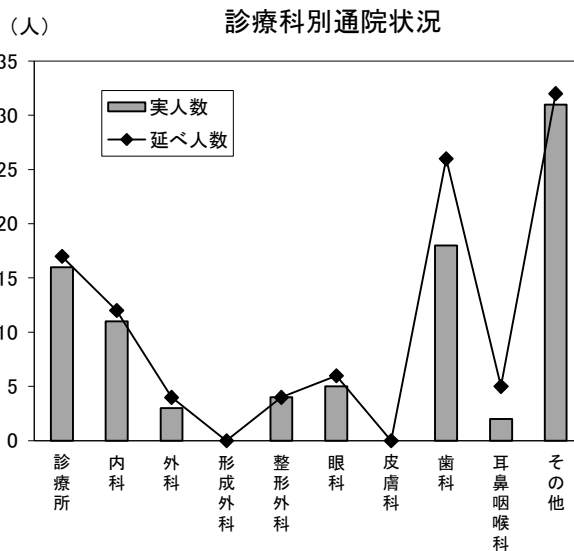
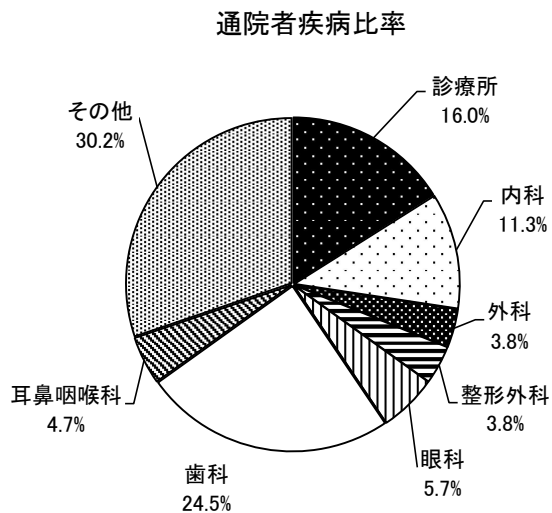
径路	区分	入 居									退 居					
		在 宅		介 護 福 祉 施 設	介 護 保 険 施 設	介 護 療 養 施 設	医 療 機 関	社 会 福 祉 施 設	そ の 他	計	死 亡	医 療 機 関	家 庭 復 帰	福 祉 施 設	そ の 他 (老 健 等)	計
家 族 等 と 同 居	一 人 暮 ら し															
計	男	4	0	0	0	0	1	0	0	5	6	0	0	0	0	6
	女	7	0	0	6	0	4	0	0	17	18	0	0	0	0	18

13 受診状況等

(令和4年度)

(単位:人)

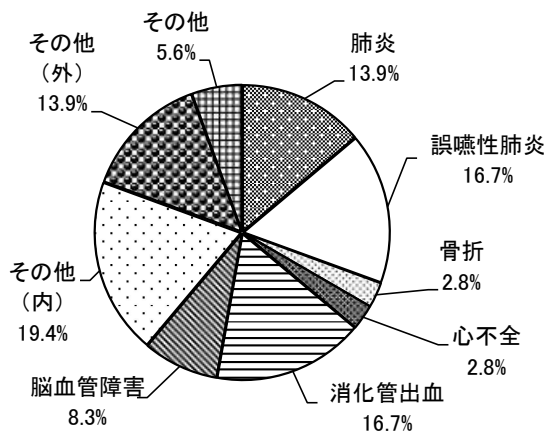
	診療所		内科		外科		形成外科		整形外科		眼科		皮膚科		歯科		耳鼻咽喉科		その他		計	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
4月	5	5													2	3			1	1	8	9
5月			1	1							1	1							4	4	6	6
6月	2	2	2	3											2	4			3	4	9	13
7月	2	2	2	2	1	1									1	3			2	2	8	10
8月	1	1							1	1					1	2			3	3	6	7
9月	1	1	1	1											1	1			1	1	4	4
10月	2	3	1	1											2	3			3	3	8	10
11月	1	1	1	1					1	1					1	2			2	2	6	7
12月			1	1							1	1			1	1			3	3	6	6
1月	1	1	1	1	1	1									3	3			4	4	10	10
2月	1	1							2	2	2	3			4	4	1	1	3	3	13	14
3月			1	1	1	2					1	1					1	4	2	2	6	10
合計	16	17	11	12	3	4			4	4	5	6			18	26	2	5	31	32	90	106
1ヶ月平均	1.3	1.4	0.9	1	0.3	0.3			0.3	0.3	0.4	0.5			1.5	2.2	0.2	0.4	2.6	2.7	7.5	8.83



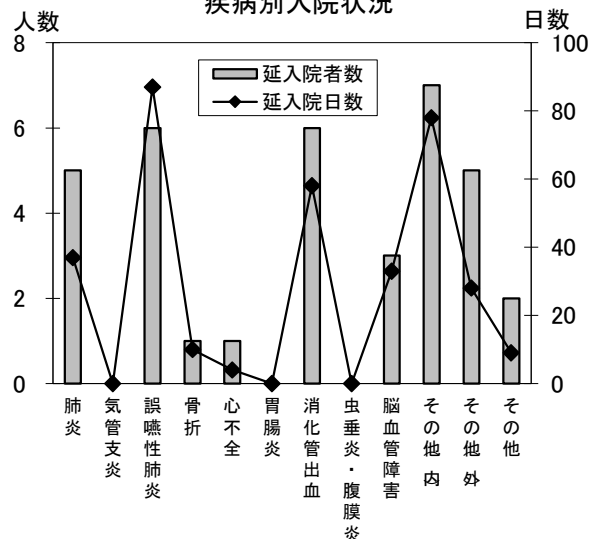
(2) 入院期間・病名等集計結果

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
実入院者数		1	2	0	2	1	1	2	3	1	5	2	2	22	
延入院者数		2	3	2	2	2	2	3	4	4	5	3	4	36	
延入院日数		27	10	23	3	0	7	41	50	32	25	10	69	297	
平均入院日数		13.5	3.3	11.5	1.5	0.0	3.5	13.7	12.5	8.0	5.0	3.3	17.3	8.3	
病名	肺炎	延入院者数	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	1	5	
		延入院日数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3	31	37
	気管支炎	延入院者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		延入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	誤嚥性肺炎	延入院者数	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	6
		延入院日数	8	0	0	0	0	0	2	20	20	0	7	30	87
	骨折	延入院者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
		延入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	10
	心不全	延入院者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
		延入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
	胃腸炎	延入院者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		延入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消化管出血	延入院者数	0	1	1	0	0	0	1	2	1	0	0	0	6
		延入院日数	0	4	15	0	0	0	14	16	9	0	0	0	58
	虫垂炎・腹膜炎	延入院者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		延入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	脳血管障害	延入院者数	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	3
		延入院日数	0	0	0	0	0	6	25	0	0	0	0	2	33
	その他(内)	延入院者数	1	1	0	1	2	0	0	0	1	0	0	1	7
		延入院日数	19	4	0	1	47	0	0	0	1	0	0	6	78
その他(外)	延入院者数	0	1	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	5	
	延入院日数	0	2	8	2	0	0	0	14	0	2	0	0	28	
その他	延入院者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	
	延入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	0	0	9	
計	延入院者数	2	3	2	2	2	2	3	4	4	5	3	4	36	
	延入院日数	27	10	23	3	47	7	41	50	32	25	10	69	344	
医療機関	地域医療センター	0	0	0	2	1	0	0	0	2	1	1	0	7	
	足助病院	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	
	豊田厚生病院	1	2	1	0	1	2	3	4	2	3	2	4	25	
	齊藤病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	トヨタ記念病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	2	3	2	2	2	2	3	4	4	5	3	4	36		

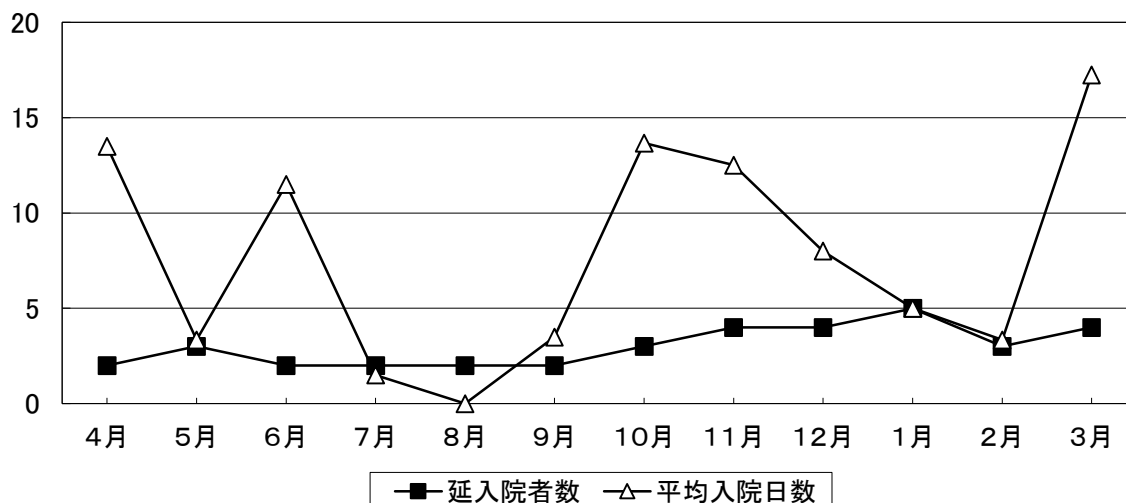
入院疾病比率



疾病別入院状況



月別入院状況



総括

令和4年度の定期業務

4月	新人医療勉強会(急変時の対応を含む)
5月	特定業務健康診断(夜勤業務者対象) 吸引・手洗い講習
6月	吸引・手洗い講習
7月	吸引・手洗い講習 向上研修(感染予防対策)
8月	吸引・手洗い講習 向上研修(感染予防対策)
9月	吸引・手洗い講習 施設清掃
10月	入居者・職員のインフルエンザワクチン接種 吸引・手洗い講習・入居者健康診断(X-P・心電図)
11月	全職員の健康診断 吸引・手洗い講習
12月	吸引・手洗い講習 肺炎球菌ワクチン予防接種
1月	吸引・手洗い講習
2月	吸引・手洗い講習
3月	吸引・手洗い講習

総括

退所者 24名

施設での看取り15名、急変4名、入院治療継続のため退所5名。施設での看取りが多く死因は老衰が12名であった。

(1) 受診状況は、令和3年度の85名から増加し90名であった。今年度の増加については歯科受診が多く、24.5%で定期健診により齲歯治療、義歯の調整、抜歯などの治療が必要になっている。

- ・診療所受診が16.0%で骨折の疑い、創傷処置、体調不良での受診が多くみられた。
- ・診療所以外の内科受診については11.3%定期内科受診、誤嚥性肺炎によるものである。
- ・眼科受診については糖尿病・緑内障の新入居者が多く、定期受診が増えている。

(2) 入院状況は入院者数22名、平均入院日数8.3日間。

- ・内科入院は誤嚥性肺炎6名、肺炎5名、消化管出血6名、心不全1名、コロナ感染症2名。
- ・外科入院は胃ろう交換1名、右大腿骨頸部骨折1名。

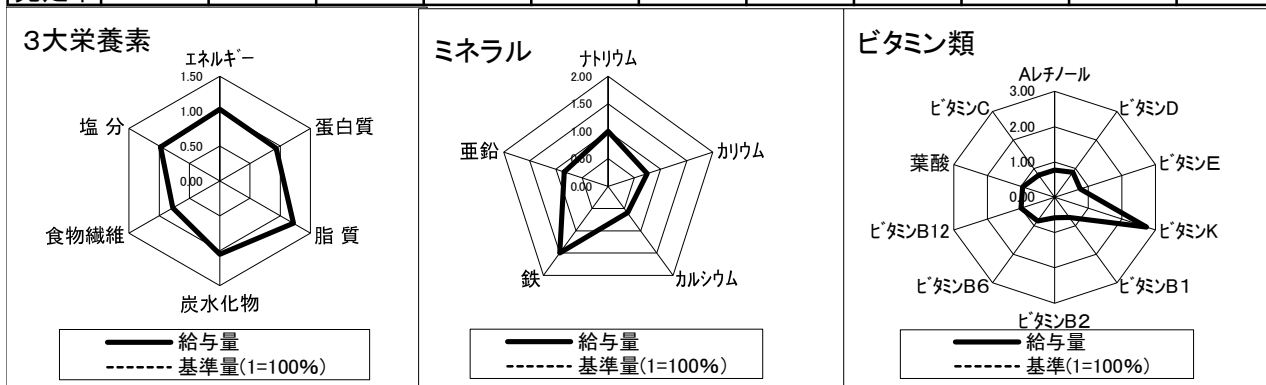
(3) 新型コロナウイルス感染者2名・インフルエンザ感染者0名・その他、感染症なし。

14 給食の状況

(令和4年度)

	エネルギー kcal	蛋白質 g	脂質 g	炭水化物 g	食物繊維 g	塩分 g	ナトリウム mg	カリウム mg	カルシウム mg	鉄 mg	亜鉛 mg
4月	1543	56.7	38.2	246.3	13.0	8.0	3216	1623	319	9.4	6.0
5月	1557	55.8	36.9	254.5	13.7	7.9	3154	1621	331	9.3	5.8
6月	1537	55.9	37.2	249.2	13.6	7.9	3173	1632	326	9.0	5.9
7月	1521	54.0	35.4	250.7	12.7	7.7	3044	1613	309	8.6	5.6
8月	1550	56.8	37.0	250.8	12.8	7.6	3062	1630	319	8.8	5.9
9月	1518	54.8	33.9	252.7	13.5	7.6	3020	1642	316	9.1	5.8
10月	1520	54.7	35.1	250.0	12.7	7.7	3074	1615	330	8.9	5.7
11月	1542	55.5	35.3	253.7	13.1	8.1	3224	1646	330	8.7	6.0
12月	1536	56.8	36.6	249.8	12.4	7.9	3180	1616	333	8.9	6.2
1月	1553	54.9	38.1	252.6	13.4	7.7	3112	1661	330	9.2	5.9
2月	1574	56.4	38.1	255.8	13.7	8.1	3208	1612	333	9.1	5.8
3月	1557	58.0	36.4	252.7	13.2	7.9	3170	1675	341	9.1	6.1
平均	1542	55.9	36.5	251.6	13.2	7.8	3136	1632	326	9.0	5.9
目標	1500	60.0	30.0	240.0	17.0	8.0	3150	2200	550	6.0	7.0
充足率	1.03	0.93	1.22	1.05	0.77	0.98	1.00	0.74	0.59	1.50	0.84

	アルチノール 当量 ugRE	ビタミンD mg	ビタミンE mg	ビタミンK ug	ビタミンB ₁ mg	ビタミンB ₂ mg	ビタミンB ₆ mg	ビタミンB ₁₂ ug	葉酸 ug	ビタミンC mg
4月	472	5	5.0	174	0.70	0.65	0.91	3.2	226	78
5月	424	5	5.0	195	0.67	0.60	0.94	2.4	231	78
6月	454	5	4.6	176	0.70	0.62	0.90	2.4	224	82
7月	444	4	5.0	187	0.73	0.56	0.87	2.0	226	75
8月	436	5	4.8	172	0.70	0.62	0.92	2.3	206	68
9月	461	5	4.8	167	0.69	0.62	0.90	2.1	221	83
10月	465	5	4.8	192	0.66	0.62	0.86	2.5	233	75
11月	458	4	4.7	193	0.74	0.61	0.92	2.4	231	76
12月	472	5	4.9	208	0.71	0.63	0.90	2.7	231	77
1月	501	4	5.3	211	0.73	0.68	0.90	2.1	238	75
2月	514	5	5.4	220	0.73	0.80	0.90	2.2	237	79
3月	476	5	5.0	198	0.69	0.64	0.98	2.5	235	81
平均	465	5	4.9	191	0.70	0.64	0.91	2.4	228	77
目標	600	6	6.5	70	1.00	1.10	1.10	2.4	240	100
充足率	0.77	0.87	0.76	2.73	0.70	0.58	0.83	1.00	0.95	0.77



【年度目標】

(1)「楽しく・美味しく」食べるを検討する。

- ①入居者に喜ばれるメニューを毎月確認し提供する。
- ②季節行事・ユニット行事等や特別な食材を使って食事の提案・提供する。
- ③入居者一人ひとりの身体・嗜好に合わせた食事提供をする。
- ④食事の環境を整える。

【総括】

- ・毎月、メニューの検討を行い食材や調理方法の改善等の見直しができ、美味しい料理の提供ができた。
- ・コロナ禍でしたが、「夏祭り」「秋祭り」を実施し、「楽しく・おいしい」時間過ごすことができた。
- ・11月には、いつもと違った「さんまご飯」を提供した。
- ・入居者様をご自分で食事をしていただけるよう、食器等の検討・購入ができた。

(1) 市内地区別利用状況

(単位:人)

月 地区	令和4年4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数
小原地区	11 (6)	76 (48)	11 (7)	102 (71)	14 (7)	99 (57)	11 (6)	100 (59)	11 (7)	65 (42)	13 (7)	99 (57)	9 (4)	84 (40)
藤岡地区	5 (4)	52 (50)	6 (4)	38 (32)	5 (3)	34 (25)	6 (3)	38 (24)	5 (3)	27 (18)	6 (4)	34 (27)	4 (3)	28 (24)
旭地区	5 (5)	36 (36)	3 (3)	25 (25)	3 (3)	23 (23)	5 (4)	34 (34)	3 (3)	17 (17)	4 (4)	30 (30)	4 (4)	36 (36)
旧豊田地区	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	21 (15)	164 (134)	20 (14)	165 (128)	22 (13)	156 (105)	22 (13)	172 (117)	19 (13)	109 (77)	23 (15)	163 (114)	17 (11)	148 (100)

()内は女性の人数

(単位:人)

月 地区	11月		12月		令和4年1月		2月		3月		合計	
	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数
小原地区	11 (6)	84 (45)	12 (8)	121 (88)	10 (6)	88 (57)	11 (7)	107 (72)	12 (9)	148 (126)	136 (80)	1173 (762)
藤岡地区	2 (2)	21 (21)	3 (3)	27 (27)	4 (3)	36 (34)	4 (3)	32 (29)	3 (2)	20 (17)	53 (37)	387 (328)
旭地区	4 (4)	33 (33)	3 (3)	26 (26)	3 (3)	37 (37)	3 (3)	26 (26)	4 (4)	34 (34)	44 (43)	357 (357)
旧豊田地区	1 (1)	6 (6)	1 (1)	7 (7)	1 (0)	7 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (2)	20 (13)
計	18 (13)	144 (105)	19 (15)	181 (148)	18 (12)	168 (128)	18 (13)	165 (127)	19 (15)	202 (177)	236 (162)	1937 (1460)

()内は女性の人数

(2) 介護度別利用状況

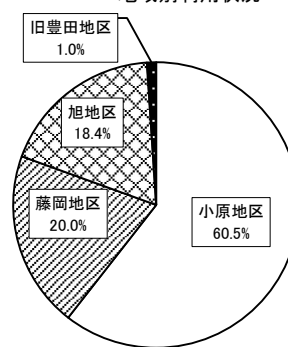
(単位:人)

月 介護度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	
要支援1	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
要支援2	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
要介護1	55 (53)	34 (32)	28 (25)	36 (31)	27 (22)	38 (33)	40 (28)	40 (32)	60 (51)	41 (34)	20 (20)	21 (19)	440 (380)
要介護2	19 (8)	27 (12)	18 (12)	22 (10)	10 (5)	13 (10)	17 (17)	15 (13)	18 (18)	28 (25)	18 (18)	9 (9)	214 (157)
要介護3	50 (45)	57 (51)	64 (37)	74 (48)	44 (31)	69 (40)	48 (25)	54 (33)	58 (46)	55 (39)	55 (35)	66 (56)	694 (486)
要介護4	26 (14)	33 (19)	27 (12)	26 (14)	19 (10)	28 (16)	28 (15)	20 (12)	30 (18)	29 (15)	57 (39)	91 (78)	414 (262)
要介護5	14 (14)	14 (14)	19 (19)	14 (14)	9 (9)	15 (15)	15 (15)	15 (15)	15 (15)	15 (15)	15 (15)	15 (15)	175 (175)
計	164 (134)	165 (128)	156 (105)	172 (117)	109 (77)	163 (114)	148 (100)	144 (105)	181 (148)	168 (128)	165 (127)	202 (177)	1937 (1460)

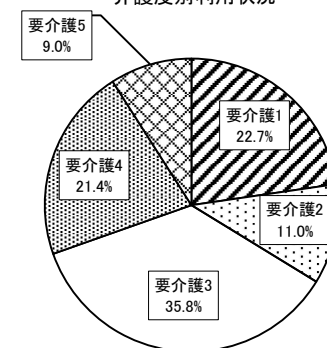
()内は女性の人数

- 小原地区の利用者が61%を占めている。藤岡地区の実人数が増えている。
- 1日平均利用者数は5.3人(前年度4.6人)と昨年より増加している。
- 平均介護度は2.82(前年度2.8)と前年度と同水準であった。送迎サービスの件数は417件(前年度450件)。
- 実人数は男性15名、女性27名で男性の割合が減少している。男女比は男性36%、女性64%と前年度より男性の割合が増加した。
- 令和4年度は新規利用者が増えた為、今後利用を定着させ稼働を高めたい。今後も広い地域からサービスを求められる施設として取り組んでいきたい。

地域別利用状況



介護度別利用状況



(令和4年度)

16 高齢者グループホームの事業

(令和4年度)

事業目的

介護保険法による要介護認定及び要支援認定を受けた認知症である方が、可能な限り家庭的な環境の中で、自立した生活が継続して営めるよう、サービスの提供を行い支援する。

(1)入居者の状況

①介護度別、年齢別状況

(R5.4.1現在/ 単位:人)

	70歳以上 80歳未満	80歳以上 90歳未満	90歳以上 100歳未満	100歳以上	計
要介護度 1	0	1	1	0	2
要介護度 2	0	1	1	0	2
要介護度 3	1	0	1	0	2
要介護度 4	0	0	0	0	0
要介護度 5	0	0	0	0	0
計	1	2	3	0	6

*入居者全員女性である。

②入院状況 (令和4年度)

月	入院者数	入院日数	月	入院者数	入院日数
4	0	0	10	1	31
5	0	0	11	1	18
6	0	0	12	0	0
7	1	6	1	0	0
8	0	0	2	0	0
9	1	20	3	0	0

(2) 生活状況

①日常生活援助

- ・家庭的な落ち着いた雰囲気の中で、一人ひとりの能力に応じて掃除、洗濯、炊事等を協働し、忘れかけていた生活行動や残存機能を引き出していくことに取り組んでいる。
- ・個々の願いや希望を尊重し、外出や地域行事に積極的に参加する機会を持つことにより、地域との交流を大切にしている。
- ・家族との連携を密にしながらい信頼関係を保ち、ご協力いただきながら生活の安定を図っている。
- ・認知症による周辺症状を低減するため、ご本人の生活リズムを把握し、一人ひとりに適した対応を継続することで、穏やかな日常が過ごせるよう支援している。

②余暇活動

- ・利用者の年代に合った生活や歌(特に唱歌)、本読み(民話や昔話)等を取り入れて、生き生きとした生活を過ごせるよう支援している。
- ・季節に応じた企画を実施し、いろいろな選択肢の中から趣旨に合う行事への参加、娯楽活動向上を実践している。

③一日の流れ (概ねの時間帯であり、その人に合った援助を行なっている)

時間	生活	余暇活動
7:00	起床 朝食準備	洗濯 掃除
8:00	朝食 健康チェック	片付け
9:00	お参り	洗濯物干し
9:30	体操(各種) 新聞(本日のニュース)	回想法、音楽
10:00	歩行訓練 おやつ 入浴	創作活動 畑、園芸作業 水撒き
11:00	昼食準備	
12:00	昼食 休憩	片付け
14:00	健康チェック 体操	散歩 買い物
15:00	入浴 おやつ 活動	シーツ交換 創作活動 畑、園芸作業
18:00	夕食準備	洗濯物たたみ
20:00	夕食	
21:00	談話 就寝	

生活動作		
炊事	食材準備	役割分担
	食事調理	役割分担
	盛り付け	役割分担
	配膳	役割分担
	食器洗い	役割分担
掃除	自室	個々
	食堂	役割分担
	廊下	役割分担
	手摺り	役割分担
洗濯	洗濯	役割分担
	干す	役割分担
	取り込む	役割分担
	たたむ	全員

共同生活において、役割意識を高めていただくため、炊事や洗濯については、個々に応じて役割を提供し、その人の能力を活かすよう取り組んでいる。

また、日常生活の中で、常に利用者が主体となり、自己決定能力向上の促進を図っている。

(3) 面会、外出、外泊の状況（令和4年度中 在籍者数8名）

（年度単位：延回数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分	面会	6	6	4	4	2	3	7	7	6	5	8	5	63
	外出	3	1	4	0	1	3	3	1	3	3	2	2	26
	外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3

(4) 身元引受人状況（R5.4.1 現在）

区分 性別	配偶者	子	子の配偶者	兄弟姉妹	甥 姪	その他	計
男	0	3	0	0	0	0	3
女	0	2	1	0	0	0	3
計	0	5	1	0	0	0	6

(5) 令和4年度 活動内容

家庭的で安心できる馴染みの空間で、仲間と活動することにより、一人ひとりのペースで穏やかな日々を過ごすことができた。生活の中で、一人ひとりの「出来ること」に着目し、自立した生活を送ることができるよう支援している。

今年度も食事は前日に配達される食材をもとに、3食をグループホーム内にて、ご利用者と共に調理している。また、ホーム周辺で採れた山菜や、うぐいす農園で収穫した野菜を食卓に並び、旬の食材で季節感を味わいながら、楽しい雰囲気作りを工夫した。

新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の行事やご家族等を招待しての行事開催は叶わなかったが、季節ごとに行事を行い、ご利用者に楽しんでいただくことができた。

主な行事・活動内容等

月	行事・活動内容	月	行事・活動内容
4	ういろう作り・鯉のぼり制作	10	小原安立秋祭り・四季桜祭り
5	回想法(稲作)・五平餅作り	11	干柿作り・うぐいす農園 (大根・カブ収穫)
6	うぐいす農園(玉ねぎ収穫)	12	クリスマス会・飾りつけ
7	七夕会・バーベキュー	1	新年会・創作活動(節分)
8	盆供養・シソジュース作り	2	節分会・雛人形作り
9	貼り絵制作(十五夜)・敬老会	3	ひな祭り会・おこしもの作り

17 在宅福祉サービス 認知症対応型通所介護

(令和4年度)

(1) 目的

少人数による家庭的な環境の中で、日常生活上の介護及び自立支援サービスを提供する。

(2) 対象

旧小原地域内で当該施設より約10Km以内に居住し、要介護者であって認知症の診断を受けている高齢者。

(3) 令和4年度利用実績

項目	月												合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	28	28	31	359	
受入可能数	90	93	90	93	93	90	93	90	84	84	84	93	1077	
延べ受入数	46	44	53	54	62	57	60	55	34	41	41	32	579	
1日平均利用数	1.5	1.4	1.8	1.7	2.0	1.9	1.9	1.8	1.2	1.5	1.5	1.0	1.61	
入浴支援数	37	37	43	46	52	49	51	46	27	34	33	25	480	
実利用人数	5	6	7	7	8	9	8	7	5	5	5	4	76	
新規受入数	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	5	
要介護度別	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	要介護1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	0	0	17	
	要介護2	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	11
	要介護3	1	2	2	2	3	4	4	3	3	3	3	3	33
	要介護4	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	0	15
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年齢別	80歳以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	80歳以上 90歳未満	3	4	5	5	5	5	4	4	3	3	2	1	44
	90歳以上 100歳未満	2	2	2	2	3	4	4	3	2	2	3	3	32
	100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(4) 考察

平成28年度より開始した7年目の事業で、平成29年より介護予防事業も開始している。少人数であるため、集団レクリエーションを苦手とする方や、認知症の症状により対応が困難である方に対して、手厚いサービスを提供できることが強みとなっている。また、グループホーム内に日中のみ新しい風が舞い込むことで、地域の話題で会話が弾み、デイサービスご利用者とグループホームご利用者の双方に良い影響となっている。

送迎範囲が地域でも限られているため、ニーズに応じて送迎範囲をご利用者ごとに検討した。日曜祝日も営業し、他の通所介護事業所に比べ利用料も安価で、多く利用していただけるため、馴染みの関係を構築するに相応しい事業所となっている。デイサービスをご利用のご家族からも、慣れた環境で継続したサービスを希望されるため、グループホームの入居の申し込み繋がっている。

18 各種委員会等活動報告

(令和4年度)

No	委員会等名	主な活動報告
①	認知症ケア検討・研修委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアについての取り組みを各ユニットで行い委員会内で発表を行った。 ・新任職員研修と法定研修の計画・実施をした。 ・施設外の研修の情報提供や研修参加状況の把握を行った。
②	身体拘束適正化委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月に1回開催し身体拘束等有無を確認を行った。 ・身体拘束等の適正化のための研修を2回行った。 ・虐待の芽チェックリストを施行した。 ・不適切ケアの研修を10月に行った。
③	地域貢献委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年から始めた近隣小学校近くでの立哨活動を前年度より回数を多く行い、交通安全週間には地元の交差点で立哨活動を行った。 ・3年ぶりにボランティア交流会を開催し、7名が参加した。 ・小原のスポーツ大会に放送係として参加、地元の環境美化に参加した。
④	CM(ケアマネ)委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・LIFEへのデータ提供を行い、データのフィードバックされたものについては委員会内で分析・検討を行った。 ・理学療法士の指導時に、入居者全員に対してパーセルインデックス評価を実施し、点数を踏まえて区分分けを行った。 ・施設サービス計画をICF視点で作成する勉強会を継続し、ケアプラン作成を行った。
⑤	衛生委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症防止のため、出勤時の着替えのチェックで啓蒙活動を実施した。 ・職員健康診断、メンタルヘルスチェックを実施し職員の心身の健康保持に努めた。 ・5S活動の一貫として洗濯槽クリーナーを使用し、年2回洗濯槽の清潔に努めた。 ・過重労働防止、年次休暇の取得等管理、検討した。
⑥	給食委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・調理委託業者と連携し、安全に食事の提供ができるよう各ユニットとの調整を行った。 ・調理室及び調理室内の器具の更新、整備を行った。 ・食器の更新、補充を行った。
⑦	介護事故防止検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・先月の事故、ヒヤリハットを毎月の会議で報告し情報の共有を図り、事故の改善策周知を行った。 ・事故報告とヒヤリハット報告書の基準の見直し。 ・介護事故防止のための研修を2回行った。
⑧	献立検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・「楽しく・おいしく食べる」では、献立表内容や調理方法の検討を行った。 ・「季節や行事メニュー」では、毎月季節に合わせたお弁当の提供、生きがい行事委員会と協力し、夏祭り・秋祭りを実施することができた。 ・「食事環境を整える」では食器等(介護用食器含む)の検討、補充ができた。 ・食器(介護食器含む)の補充・更新。
⑨	コンチネンスケア委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄ケアの質向上に取組み、リリアムαを活用し残尿測定を行った。 ・オムツゼロに向けて取組み、各ユニット群でご入居者個々にあったケアを検討し、実施した。 ・排泄用品の見直しは、新しい商品の導入ができた。
⑩	看とりケア委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」「看取りケア指針」の見直し・修正を行なった。 ・盆供養の開催及び、マニュアルの作成。 ・看取り期の面会方法の見直し及び周知を行なった。
⑪	防災委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・災害用トランシーバーを更新し、マニュアルを整備した。 ・非常食の更新、整理をした。またLPガス災害バルクを用いた炊出訓練を実施した。 ・防災訓練、通報訓練、応急手当講習を予定通り実施した。 ・地域の消防署・社協と合同の防災訓練を実施した。
⑫	施設看護業務改善委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・看護業務の見直しを行い手順書の作成を行った。 ・新型コロナウイルスワクチン接種を1階機械浴室に設置することで移動や急変時の対応等スムーズに行う事ができた。
⑬	医行為安全対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・喀痰吸引研修修了者向けの手技訓練が予定通り28名実施することができた。 ・昨年度からの実施研修者3名、新たな研修者3名実地研修を実施した。 ・17名の喀痰吸引指示書を更新し、38名の半年ごとの更新を実施した。 ・医薬品・衛生物品点検表を活用し、使用期限の点検・整頓を実施した。
⑭	感染症・褥瘡予防対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症向上研修・手洗い講習を実施する。今年度インフルエンザ感染者：0名、新型コロナウイルス感染者：入居者3名、職員15名だった。肺炎球菌ワクチン接種を該当者及び希望者に接種した。入居者健診を実施し検査結果一覧を嘱託医に提出した。 ・褥瘡者の増加あり適切なマットレスの使用と管理、ポジショニングを実施した。
⑮	生きがい行事・回想法委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の方をお招きして、敬老会・クリスマス会の企画・運営を行った。 ・居酒屋や夏祭りを開催し、気分と場所を変えて飲食を楽しんでいただいた。 ・年/4回「入居者の近況報告」としてご家族へのお便りの発行を行った。 ・施設プログラムの更新や活性化を図った。
⑯	入退所検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の居宅支援事業所や病院等と連携をとりながら入所を進めた。 ・本人や介護者の急病等に対し、緊急性を考慮しながら入所を進めている。 ・稼働率は95.1%であった。

19 職員種別会議、研修参加状況

(令和4年度)

(1)特別養護老人ホーム関係

施設長

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	5月13日	日本福祉大学	社会福祉士実習指導者説明会	Web	他1名
2	6月22日	豊田市	ハイリスク施設における感染対策研修会	Web	他数名
3	9月5～30日	全国老施協	東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会	Web	他12名
4	10月1日	昭徳会	福祉セミナー	法音寺	他4名
5	10月28日	全国老施協	施設入所・退所時の事務手続等対応研修	Web	他2名
6	11月22日	愛知県福祉局高齢福祉課	介護従事者のメンタルヘルス研修	ウインクあいち	
7	12月7日	愛知県老施協	施設長・事務員研修	ウインクあいち	他1名
8	12月14～18日	全国社会福祉協議会	社会福祉施設長資格認定通信課程	ロフォス湘南	
9	12月22日	厚生労働省	働き方改革関連法令令和4年度説明会	Web	他2名
10	1月12・13日	愛知県高齢福祉課	権利擁護推進員養成研修	大府市役所	他1名
11	1月26日	ウエルフェア・J・ユナイテッド(株)	成功のセオリー習得研修	野村コンファレンスプラザ新宿	
12	2月17日	ウエルフェア・J・ユナイテッド(株)	成功のセオリー習得研修	野村コンファレンスプラザ新宿	
13	2月22日	愛知県高齢福祉課	権利擁護推進員養成研修	大府市役所	他1名
14	2月28日	愛知県老施協	愛知県大会	ウインクあいち	他3名
15	3月20日	ウエルフェア・J・ユナイテッド(株)	成功のセオリー習得研修	野村コンファレンスプラザ新宿	
16	10月3日	愛知県社協	職場環境改善研修	愛知県社会福祉会館	
17	2月	愛知県社協	職場環境改善研修	Web	

業務課長

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	5月13日	昭徳会	監督者研修1	開山堂	
2	6月22日	豊田市	ハイリスク施設における感染対策研修会	Web	他数名
3	8月29日	高浜安立荘	介護事業者のためのBCP策定研修	いきいき広場	他1名
4	9月5～30日	全国老施協	東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会	Web	他12名
5	10月3日	全国老施協	施設入退所時の事務手続等対応研修	Web	他2名
6	10月7日	高浜安立荘	介護事業者のためのBCP策定研修	いきいき広場	他1名
7	10月11日	労働基準協会	労働実務総合研修	名北労働基準協会	
8	10月25日	高浜安立荘	介護事業者のためのBCP策定研修	いきいき広場	他1名
9	11月22日	愛知県福祉局高齢福祉課	介護従事者のメンタルヘルス研修	ウインクあいち	
10	11月23日	株式会社ウエルネット	技能実習責任者講習	irmy会議室	
11	12月16日	日本福祉大学	福祉現場と専門職養成をつなぐフォーラム愛知	Web	他2名
12	12月22日	厚生労働省	働き方改革関連法令令和4年度説明会	Web	他2名

生活相談員

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	5月24日	昭徳会	GL研修(専門)	法音寺	他2名
2	10月3日	全国老施協	施設入退所時の事務手続等対応研修	Web	他2名
3	11月8日	昭徳会	GL研修(評価)	法音寺	他6名
4	3月3日	日本福祉大学	連携社会福祉法人サミット	Web	他1名

リエソSW

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	5月13日	日本福祉大学	社会福祉士実習指導者説明会	Web	他1名
2	12月16日	日本福祉大学	福祉現場と専門職養成をつなぐフォーラム愛知	Web	他2名

事務員

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	5月24日	昭徳会	GL研修(専門)	法音寺	他2名
2	7月12日	愛知県危険物安全協会連合会	危険物取扱者保安講習	豊田市民文化会館小ホール	
3	9月5～30日	全国老施協	東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会	Web	2名他11名
4	10月5日	小原寮	防犯研修	小原寮	他1名
5	11月8日	昭徳会	GL研修(評価)	法音寺	他6名
6	12月7日	愛知県老施協	施設長・事務員研修	ウインクあいち	他1名
7	12月22日	厚生労働省	働き方改革関連法令令和4年度説明会	Web	他2名
8	2月8日	愛知県	社会福祉法人会計事務研修会	Web	
9	2月13日	全国社協	社会福祉法人会計実務者決算講座	Web	

栄養士

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	8月10日	豊田市保健所	腸内フローラついて	豊田市役所	
2	9月5～30日	全国老施協	東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会	Web	他12名
3	10月15日	日本コンチネンス協会	コンチネンス健康推進報告会兼学習会	Web	他1名
4	11月17日	昭徳会	栄養士研修	安立荘	
5	2月12日	日本コンチネンス協会	認知症ケア研修	Web	他1名
6	3月5日	日本コンチネンス協会	高齢者の身体活動量への支援について	Web	他1名

看護員

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	8月29日	高浜安立荘	介護事業者のためのBCP策定研修	いきいき広場	他1名
2	10月7日	高浜安立荘	介護事業者のためのBCP策定研修	いきいき広場	他1名
3	10月15日	日本コンチネンス協会	コンチネンス健康推進報告会兼学習会	Web	他1名
4	10月25日	高浜安立荘	介護事業者のためのBCP策定研修	いきいき広場	他1名
5	1月17日	昭徳会(労働安全衛生委員会)	業務改善研修「5Sセミナー」	Web	
6	2月12日	日本コンチネンス協会	認知症ケア研修	Web	他1名
7	3月5日	日本コンチネンス協会	高齢者の身体活動量への支援について	Web	他1名
8	3月24・29・30日	昭徳会	新任職員研修	法音寺	他1名

介護員

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	5月10日	昭徳会	GL研修(専門)	法音寺	3名他1名
2	5月24日	昭徳会	GL研修(専門)	法音寺	他2名
3	6月8日	昭徳会	資格取得セミナー	Web	2名他2名
4	6月22日	豊田市	ハイリスク施設における感染対策研修会	Web	他数名
5	6月23日	昭徳会	初任者研修	法音寺	2名
6	6月27日	昭徳会	資格取得セミナー	Web	2名他2名
7	7/4~	全国老施協	「介護施設における安全対策担当者養成研修」	Web	他1名
8	7月12日	全国老施協	心の免疫力を高めるワークショップ	Web	
9	7月13日	昭徳会	エキスパート研修	法音寺	2名
10	7月20日	昭徳会	資格取得セミナー	Web	2名他2名
11	7月29日	昭徳会	資格取得セミナー	Web	2名他2名
12	8月1~31日	豊田市介護保険課	介護職員に求められる心構え・ルール	Web	
13	8月9日	昭徳会	資格取得セミナー	Web	2名他2名
14	8月23・24日	介護福祉士会	認知症介護実践者研修	桜華会館	
15	8月26日	昭徳会	資格取得セミナー	Web	2名他2名
16	9月5~30日	全国老施協	東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会	Web	6名他6名
17	9月6・7日	介護福祉士会	認知症介護実践者研修	桜華会館	
18	9月6~8日	全国個室ユニット型施設推進協議会	ユニットリーダー研修	せんねん村矢曾根	
19	9月8日	昭徳会	資格取得セミナー	Web	2名他2名
20	9月15・16日	愛知県社協	チームリーダー課程研修	愛知県社会福祉会館	
21	9月16日	全国個室ユニット型施設推進協議会	ユニットリーダー研修	せんねん村矢曾根(プレゼンテーション)	
22	9月22日	昭徳会	初任者研修①	法音寺	2名
23	9月26日	昭徳会	分野別専門研修(1回目)	安立荘	4名
24	9/28~10/26	愛知県介護福祉士会	認知症介護基礎研修	Web	
25	10月1日	昭徳会	福祉セミナー	法音寺	4名他1名
26	10月3日	昭徳会	資格取得セミナー	Web	2名他2名
27	10月4~6日	全国個室ユニット型施設推進協議会	ユニットリーダー研修	せんねん村矢曾根	
28	10月5日	労働基準協会	労働実務基礎講習	名北労働基準協会	
29	10月5日	小原寮	防犯研修	小原寮	他1名
30	10月12日	昭徳会	分野別専門研修(1回目)	安立荘	4名
31	10月12日	介護福祉士会	認知症介護実践者研修	桜華会館	
32	10月17日	安立荘	自力避難困難者搬送法研修	安立荘	
33	10月18・19日	愛知県社協	中堅職員課程研修	愛知県社会福祉会館	
34	10月19日	昭徳会	初任者研修③	法音寺	2名
35	10月21日	全国個室ユニット型施設推進協議会	ユニットリーダー研修	せんねん村矢曾根(プレゼンテーション)	
36	10月22日	愛知県介護福祉士会	医療連携のあり方と医療知識	名古屋総合福祉会館	
37	11月5日	愛知県介護福祉士会	介護職員のための相談援助スキルアップ研修	名古屋総合社会福祉会館	
38	11月8日	昭徳会	GL研修(評価)	法音寺	4名他3名
39	11月9日	介護福祉士会	認知症介護実践者研修	桜華会館	
40	11月12日	愛知県介護福祉士会	介護職種の技能実習指導員講習	桜華会館	2名
41	11月15・16日	日本ユニットケア推進センター	ユニットリーダー研修	Web	
42	11月25日	愛知県福祉局高齢福祉課	介護従事者のメンタルヘルス研修	豊田市福祉センター	
43	12月1・2日	愛知県社協	初任者課程研修	愛知県社会福祉会館	
44	12月16日	日本福祉大学	福祉現場と専門職養成をつなぐフォーラム愛知	Web	他2名
45	1月12・13日	愛知県高齢福祉課	権利擁護推進員養成研修	大府市役所	他1名
46	1月30日	全国個室ユニット型施設推進協議会	パーセルインデックス研修	Web	2名
47	2月22日	愛知県高齢福祉課	権利擁護推進員養成研修	大府市役所	他1名
48	2月28日	愛知県老施協	愛知県大会	ウインクあいち	3名他1名
49	2月28日~3月3日	日本ユニットケア推進センター	ユニットリーダー研修実地研修	大地の丘	
50	3月3日	日本福祉大学	連携社会福祉法人サミット	Web	他1名
51	3月24・29・30日	昭徳会	新任職員研修	法音寺	他1名

(2) 高齢者グループホーム関係

介護員

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	4/1～	認知症介護研究・研修仙台センター	認知症介護基礎研修	Web	
2	5月10日	昭徳会	GL研修(専門)	法音寺	他3名
3	6月22日	豊田市	ハイリスク施設における感染対策研修会	Web	他数名
4	7/4～	全国老施協	「介護施設における安全対策担当者養成研修」	Web	他1名
5	8月23日	GH連絡協議会	認知症ケアにおけるコミュニケーション力の向上を目指して	Web	
6	9月5～30日	全国老施協	東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会	Web	他12名
7	11月8日	昭徳会	GL研修(評価)	法音寺	他6名
8	12月9日	愛知県介護福祉士会	パーソン・センタード・ケア研修	Web	

20 防災対策状況

(令和4年度)

実施日	実施内容	実施結果 (所要時間)	参加者
6月30日	小原福祉ビレッジ3施設合同避難訓練・消火訓練・通報訓練	60分	入居者 90 名 職員 29 名
9月22日	3施設・消防署・社協合同防災訓練	120分	入居者 0 名 職員 6 名
10月17日	法人防災訓練（炊き出し・職員安否確認通報訓練）	240分	入居者 86 名
	小原福祉ビレッジ3施設合同総合避難訓練・消火訓練		職員 25 名
1月20日	避難訓練（夜間想定）	30分	入居者 38 名 職員 6 名
3月15日	部分訓練（炊き出し訓練）	150分	入居者 0 名 職員 4 名
年2回	普通救命講習（心肺蘇生法・窒息対応などの基礎講習）	各3時間	入居者 0 名 職員 18 名

参考

防災訓練の実施（小原安立防災要領 第20条）

訓練種目	訓練内容
通報訓練	消防署及び、非常連絡網により訓練する
消火訓練	消火器の取扱を習得し、消火の基本を訓練する
避難訓練	夜間訓練を含む避難訓練を実施する
救急訓練	蘇生訓練等及び怪我の応急措置等について訓練する
総合訓練	消火、通報及び避難誘導等を連携して実施する

※ 避難訓練及び消火訓練は年2回以上、その他の訓練は年1回以上実施する。

21 令和4年度 事業報告(小原安立)

1. 根拠に基づいた高品質な個別ケア・サービスの提供

- (1)介護保険データベース「LIFE」へ定期及び随時提出データ（入居、退去、長期入院）を提出し加算取得に努め、フィードバック機能によって送付される全国平均値などを、ケアマネ委員会で分析対応する体制を整えました。
- (2)「LIFE」への情報提供に合わせて、バーセルインデックスによるアウトカム評価を実施し、自立支援介護グループ、要介護状態の悪化防止グループ、看取りケアグループに分け施設サービス計画書への位置づけを行いました。
- (3)前年度受審した第三者評価の結果において、介護全般におけるマニュアルの不足を指摘されており、作成する13項目を抽出し、マニュアル作成を進めております。

2. 現場対応力（能力開発）と人間力（心を開墾）を高める人材教育の推進

- (1)2期生として新たな技能実習生を2名受入れし、3月に配属となりました。毎月委員会を開催し、実習状況の確認、買い物支援の実施状況を協議しています。また新たに特定技能外国人の受入れに向け、1名面接を実施。令和5年7月の配属に向けて準備を進めております。
- (2)職務に必要な研修として、ユニットリーダー研修（1名）、バーセルインデックス研修（2名）喀痰吸引研修（2名）、安全対策担当者養成研修（2名）、コンチネンスケアワーカー研修（2名）、認知症介護基礎研修（1名）、認知症介護実践者研修（1名）、外国人技能実習指導員研修（2名）、責任者講習（更新1名）等の外部（web含）研修へ参加しました。ICF研修については今年度も2回実施しました。
- (3)ハラスメントの理解（カスタマーハラスメントも含む）を深める研修については、実施できず、就業規則の周知に留まりました。

3. 事業継続の観点から健全な経営、労働環境の改善を図る（稼働目標97%）

- (1)修繕の必要なベッドキャスターを14台更新しました。電話基盤更新工事については、規格変更の延長もあり次年度以降で実施することとしました。
- (2)高齢者グループホームの増床工事に向け、令和5年度豊田市地域医療介護総合確保補助金の意向確認調査への回答申請を行いました。昨今のウクライナ情勢による工事部材の高騰、人員確保の見通しが立たないことから、増床工事取り下げ申請書を豊田市へ提出いたしました。
- (3)食事サービス提供方法（調理済み食材活用）の見直しを検討するため、複数業者による試食会を実施しました。
- (4)勤怠管理システムにおいて出退勤管理を実施していますが、周知徹底に時間を要しており事務軽減には至っておりません。超勤承認作業の見直しを引き続き進めていきたいと思っております。
- (5)稼働率については特養95.1%、短期入所88.4%、高齢者グループホーム96.5%、共用型通所介護53.8%となっております。特養は目標の97%に届かず、その要因としては入院日数が316日と昨年の2.6倍（121日）だったことや、年末年始にかけての退所が増加した際に、入所調整が上手くいかず、空床状態が続いたことが要因です。事業継続に向け、介護予防認知症対応型通所介護事業の指定更新を実施しました。

4. 地域貢献活動を通じた社会福祉法人として価値向上

- (1)昨年度に引き続き、豊田市社会福祉協議会小原支所と連携したフードドライブ事業を2回実施し、今年度ハチドリチャレンジには、交通立哨活動、地域の清掃活動等で、すべての職員が参加することが出来ました。
- (2)再開した地域行事もあり、小原ニュースポーツ大会、小原地区の環境美化活動等に参加しています。職員宿舎のある遊屋町での立哨活動も定期的に開催しました。
- (3)日本福祉大学の学生とのオンラインでの交流会を検討しましたが、ゼミ生との希望が合わず実施できませんでした。4年ぶりに社会福祉士現場実習（日本福祉大学福祉経営学部 通信課程2名 中京大学現代社会学部2名）の受入れを実施しました。

5. 事業継続管理推進に向けた、災害低減対策の推進

- (1)感染症BCP作成のために法人内外の研修に職員が参加し、厚生労働省のひな型を参考にしながら作成に取り組んでいます。
- (2)防護服着用のシミュレーション訓練を施設内研修会で実施しました。また昨年度整備した災害用バルクLPガス供給システムを活用した炊き出し訓練を法人防災訓練時に行いました。継続的に行っている、豊田市北消防署藤岡分署との合同 防災訓練について、今年度は豊田市社会福祉協議会小原支所も加わり、福祉避難所としての 要配慮者受入れ 訓練を実施しました。

